

林業ミニ情報 No.164

令和4年5月

- 1 大子町立袋田小学校で森林・林業体験学習を実施 1
(大子林業指導所 山本)
- 2 神栖市立太田小学校での森林・林業体験学習 3
(鉾田林業指導所 大和田)

R 4. 林業ミニ情報（令和4年5月）

（大子林業指導所 山本 紳兵）

タイトル	大子町立袋田小学校で森林・林業体験学習を実施
年月日	令和3年10月24日（日）
場所	大子町立袋田小学校
内容	<p>去る令和3年10月24日（日）、大子町立袋田小学校において、児童56名（1～6年生）とその保護者、教員を対象に、森林・林業体験学習を実施しました。</p> <p>同校では、例年、児童と保護者を対象に「親子の集い」を開催し、校内実習で収穫したもち米を使った、餅つき大会を行っていました。</p> <p>しかし、コロナ禍の影響で実施が困難となったため、感染リスクの少ない森林・林業体験学習に内容を変更し、森林についての講話、木工工作体験（お箸づくり、木のストローづくり、コースターお絵描き）を行いました。</p> <p>森林についての講話では、特に、森林の持つ役割について詳しく説明を行いました。同町では、令和元年に発生した久慈川の氾濫による災害が記憶に新しいこともあり、森林の貯水能力を高めることで、災害防止につながるという説明を聞いた参加者は、その内容に強く興味を持った様子で、森林の重要性についての理解を示していました。</p> <p>また、木工工作体験では、木のストローづくりに挑戦した児童たちが、カンナの削り華をストロー形に巻く作業に四苦八苦している様子でした。</p> <p>児童たちからは、「いつもプラスチックのものを使っていたが、木でも同じものができると分かった」、「地球温暖化防止に貢献できるよう、木の製品を使っていきたい」などの感想があり、木を使う意義を学ぶことができました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講話の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>箸づくりの様子</p> </div> </div>



木のストローづくりの様子





コースターへのお絵描きの様子

普及成果等

本体験学習を通して、児童や保護者たちが森林の持つ役割等を知ること
で、森林を大切にすることを育むとともに、森林・林業への理解を深め
ることができました。今後も、新型コロナウイルス感染症対策をとりな
がら、本活動に取り組んでいきたいと思えます。

R 4. 林業ミニ情報（令和4年5月）

（鉾田林業指導所 大和田 愛）

タイトル	神栖市立太田小学校での森林・林業体験学習
年月日	令和4年3月9日（水）
場所	神栖市立太田小学校
内容	<p>令和4年3月9日、神栖市立太田小学校の5年生 25名を対象に、森林・林業体験学習を実施しました。</p> <p>当日は、はじめに森林・林業についての講話を行い、森林の働きや林業という仕事について説明しました。その際、内容に興味を持った生徒の中には、熱心にメモを取る姿も見受けられました。また、森林のクイズでは、普段の授業で学習した内容ということもあり、一斉に盛り上がりを見せ、生徒たちが楽しそうに参加している様子が印象的でした。さらに、高性能林業機械の動画を流すと、「かっこいい！」「木が一瞬で切れた！すごい！！」など、その迫力に興奮していました。</p> <p>講話の後は、茨城県産のスギ材を使った本立てづくりを行いました。生徒たちは、慣れない釘打ち作業に苦戦しながらも、ひとつひとつ異なる木目や節の模様、木の手触りや香りを感じながら、自分だけの本立てを作ることができました。</p> <p>今回の体験学習を通して、木を使うことや森を守ることの大切さを学び、森林・林業についての知識と理解を深めてもらうことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="416 1355 922 1639" style="text-align: center;">  <p>講話（森林のクイズ）</p> </div> <div data-bbox="938 1355 1444 1639" style="text-align: center;">  <p>本立てづくり</p> </div> </div>
普及成果等	<p>鹿行地域は森林が少ないため、森林にあまり馴染みのない子供たちが多いのが現状です。そのため、子供たちが森林・林業への関心を持つきっかけとなるよう、今後も、体験学習等による普及活動に取り組んでまいります。</p>